

テーマ 3

「豊かな人生を生きる」（人権課題：高齢者）

1 学習のねらい・人権教育の視点

- (1) 高齢者の認知症や介護、高齢者に対する虐待等の高齢社会の問題や、これからの社会での高齢者の生きがいや役割について理解し、高齢者やその家族、介護者のそれぞれの尊厳や人権が尊重される社会を築いていこうとする意欲や態度を身につける。

2 指導上の留意点

- (1) 家庭に要介護者や認知症の方がいる生徒がいる場合は、状況把握や展開について配慮が必要である。
- (2) 高齢者人口が多くなること、いずれ自分も高齢者となることなど、さまざまな視点から、自分事として考えさせ、問題点だけでなく、高齢者の生きがいや役割について肯定的な面にも気づかせる。
- (3) 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもは「ヤングケアラー」と呼ばれ、学習や発達にも支障が出るおそれがあると言われる。(1)のような生徒を把握している場合は、当該生徒の学校生活での様子に留意する。

3 展開例

学習活動	指導上の留意点、使用する資料
高齢者や高齢社会での困り事や課題は何だろうか。	
1 高齢者に関する人権侵害について、右ページのグラフや自分の体験などから考える。 キーワードや教員の開設から、虐待や認知症についてワークシートにまとめる。	○ 高齢者の困り事や人権侵害について、キーワードや右ページのグラフの項目等を説明し、誰もがかわる可能性がある問題として「認知症」に着目させる。高齢者虐待については、QRコードからアクセスし確認できる。
介護において、高齢者や介護者の尊厳が大切にされる関係性とはどのようなものだろうか。	
2 マンガや「認知症の高齢者に接した高校生の声」を読み、マンガの「対等な関係性」という言葉について考える。	○ マンガや高校生の感想については、感想やよくわからない点を聞き、補足する。 ○ 笑顔や丁寧な言葉がけのほか、お互いの小さな「返報」つまり win-win の関係に留意することが大切であることを確認する。
3 ワークシートの事例に取り組む。	○ 「3」は展開に余裕がなければ認知症高齢者の行方不明者数の説明にとどめる。
高齢者が安心して地域で暮らし、「豊かな人生」を実現するためにはどうすればよいだろうか。	
4 高齢者の「生きがい」としてどのようなものがあるか考える。	○ 趣味や社会で期待される役割などの生きがいが「豊かな人生」において重要であることに気づかせる。 ○ 声かけなど高齢者への働きかけ、イベント・ボランティアでの支援への参加、高齢者との協働などの視点から共生社会の実現について考えさせる。
5 地域の一員、高校生としての自分ができる事を考え、ワークシートに記入する。	

4 参考資料

- (1) 「認知症施策の総合的な推進について」(兵庫県)[QRコード右]
- (2) 「ひょうごの福祉」兵庫県社会福祉協議会[QRコード左]



[ワークシート]

「豊かな人生」を考える

年 組 番 名前

1 高齢者はどんなことに困っているだろうか。

2 高齢者の人権侵害について整理しておこう。

- 【 】的虐待…たたくななどの暴力など
- 【 】的虐待…暴言・心無い言葉を使うなど
- 【 】の怠慢・放棄(ネグレクト)…世話をしないなど
- 【 】的虐待…本人の承諾なしに年金などを引き落とすこと

3 「認知症」について確認しよう。

4 高齢者や認知症の方、介護者の尊厳が認められる「対等な関係性」とはどのようなものだろうか。

[事例] 次のような場面に出会ったらどうしたらよいだろうか。

あなたは学校の帰り道、雨が降っているのに傘もささず、靴を履いていない高齢者を交差点の前で見かけました。その人はなんだかぼんやりしたままです。あなたならどのような行動ができますか？

参考:徘徊かも！？と思ったら

- ① 驚かせないように正面から声をかける
- ② 「どうしましたか？何かお困りですか？」などと尋ね、相手に落ち着いてもらう
- ③ 言葉が出にくい場合、洋服や靴に名前や連絡先が縫い付けられていないか確認する
- ④ 一人で放っておけないと感じたら、近くの大人や家族、交番などに連絡する

5 地域のなかで高齢者が安心して暮らし、「豊かな人生」を実現するために、自分ができようことを考えよう。